

Rtoaster action+

自動データアップロードプログラム 設定マニュアル

2023 年 7 月 24 日版

株式会社ブレインパッド

目次

1	はじめに.....	3
1.1	自動データアップロードプログラムでご利用頂ける機能	3
1.2	自動データアップロードプログラムの提供ファイル一覧	3
1.3	動作環境.....	4
2	自動データアップロードプログラムの設定	5
2.1	設定手順.....	5
2.1.1	各種アップロードデータ CSV (TSV) ファイルの格納ディレクトリ作成	5
2.1.2	各種アップロードデータ CSV (TSV) ファイルの作成、格納	5
2.1.3	自動データアップロードプログラムを配置.....	5
2.1.4	自動データアップロード実行ユーザーの作成（任意）	6
2.1.5	設定ファイルの編集.....	6
3	自動データアップロードプログラムの実行	10
3.1	自動データアップロードプログラムの実行	10
3.2	アップロードデータの処理状況確認.....	11
4	付録.....	12
4.1	自動データアップロードプログラム動作確認チェックシート	12

1 はじめに

- 本書は弊社より提供している自動データアップロードプログラム（以下、本プログラム）を使用して各種データを Rtoaster action+ へアップロードするための手順を記載したマニュアルです。
- ご不明な点がございましたら弊社 Rtoaster サポート窓口までご連絡ください。

株式会社ブレインパッド Rtoaster サポート窓口

Rtoaster サポートセンター	https://support.rtoaster.jp
受付時間	月～金曜日（10:00～18:00） ※年末年始・祝日を除く

1.1 自動データアップロードプログラムでご利用頂ける機能

- 本プログラムでは下記の機能がご利用頂けます。
 1. レコメンデーション機能で使用する「アイテムデータ（商品データ）」の更新
 2. ユーザー属性設定における「ユーザー属性データ」の更新
 3. ユーザー軸外部リストレコメンド機能で使用する「レコメンドリスト」の更新
 4. アイテム軸外部リストレコメンド機能で使用する「レコメンドリスト」の更新
 5. Web コンテンツグループ設定における「Web コンテンツグループ情報」の更新

1.2 自動データアップロードプログラムの提供ファイル一覧

- 本プログラムでは下記ファイルを提供いたします。
 1. importer.bat : Windows 用の起動スクリプト
 2. importer.sh : Unix/Linux 用の起動スクリプト
 3. importer.jar : プログラム本体
 4. importer.properties.example : 設定ファイルのサンプル
(「importer.properties」にリネームしてご利用ください)

1.3 動作環境

- Eclipse Adoptium 提供、RedHat 提供、および ORACLE®提供の Java™ SE Runtime Environment バージョン 8 (u45 以降)、11、あるいは 17 がインストールされている環境で動作いたします。システム要件、ダウンロード、導入手順は下記 URL をご参照ください。また導入後、実行環境の設定に JAVA_HOME が設定されている事をご確認ください。

Java システム要件 : <http://www.java.com/ja/download/help/sysreq.xml>

Eclipse Adoptium 提供

ダウンロード : <https://adoptium.net/>

導入手順 : <https://adoptium.net/installation>

RedHat 提供

ダウンロード : <https://developers.redhat.com/products/openjdk/download>

導入手順 : <https://developers.redhat.com/openjdk-install>

ORACLE®提供

ダウンロード : <http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>

導入手順 : http://www.java.com/ja/download/help/download_options.xml

- Rtoaster action+管理画面と同じ「admin.rtoaster.jp」に対して HTTPS 通信で接続できる環境である必要があります。

※ 通信先である Rtoaster action+サーバーのホスト、ポートは以下の通りです。

- ホスト : admin.rtoaster.jp
- ポート : 443/tcp (HTTPS)

2 自動データアップロードプログラムの設定

2.1 設定手順

- 本プログラムを実行するため、以下の手順に沿って設定を行ってください。

2.1.1 各種アップロードデータ CSV (TSV) ファイルの格納ディレクトリ作成

- アップロードする CSV (TSV) ファイルを格納するディレクトリを作成します。
- アイテム情報データ (商品データ)、ユーザー属性データ、ユーザー軸外部リストレコメンドデータ、アイテム軸外部リストレコメンドデータ、Web コンテンツグループデータの CSV ファイルは、それぞれ異なるディレクトリに格納してください。
- ※ 各ディレクトリにはアップロードするデータファイル以外のファイルを格納しないでください。
- ※ ディレクトリ内に複数のファイルが存在した場合、すべてのデータファイルがアップロードされますが、処理されるファイルの順番は不定となります。
- ※ 本プログラムを実行する Windows PC/サーバーとデータファイルを格納する PC/サーバーが異なる場合、データファイルを格納するディレクトリに対して、ネットワークドライブ (例 z:¥ など) を割り当ててください。

2.1.2 各種アップロードデータ CSV (TSV) ファイルの作成、格納

- 各種データファイルを作成し、前手順で作成したディレクトリに格納します。
- 各種データファイルのヘッダ行等のフォーマットにつきましては、Rtoaster サポートセンターに掲載中のマニュアルをご参照ください。
- CSV (TSV) ファイルの文字コードは、UTF-8 (推奨)、Shift-JIS、EUC-JP、または ISO-2022-JP で作成してください。
- ※ 本プログラムは、ファイルの文字コードを自動判別して処理します。

2.1.3 自動データアップロードプログラムを配置

- 本プログラムの「起動ファイル」「プログラム本体」「設定ファイルのサンプル」を任意の同一ディレクトリ内に格納してください。
- ※ 起動ファイルはご使用の OS に合わせ「importer.bat」または「importer.sh」のいずれかのみを配置してください。

2.1.4 自動データアップロード実行ユーザーの作成（任意）

- Rtoaster action+管理画面に管理者でログインし、「オペレーター一覧」画面に移動します。
- 「オペレーターを作成」をクリックし、下記表の必要な権限を付与してオペレーターを作成します。

- ※ 既存のユーザーを使用する際は新規ユーザーを作成する必要はありません。
- ※ 既存のユーザーを使用する際は下記権限が付与されている事を確認下さい。

< 設定項目（任意項目） >

設定項目	設定内容
アイテム情報データ	「プロパティ権限編集」(サイト権限編集)の「アイテム情報のインポート」を「有効」にします
ユーザー属性データ	「プロパティ権限編集」(サイト権限編集)の「ユーザー属性のインポート」を「有効」にします
アイテム軸外部リストレコメンドデータ	「プロパティ権限編集」(サイト権限編集)の「アイテム軸外部リストのインポート」を「有効」にします
ユーザー軸外部リストレコメンドデータ	「プロパティ権限編集」(サイト権限編集)の「ユーザー軸外部リストのインポート」を「有効」にします ※以下の「プロパティ権限編集」(サイト権限編集)または「設定グループ権限編集」のいずれか1つ以上を「閲覧可または閲覧・編集可」にします 「プロパティ権限編集」(サイト権限編集) ・「メールレコメンド場所設定」 ・「外部連携配信設定」 「設定グループ権限編集」 ・「Web レコメンド場所/Web レコメンドルール設定」 ・「アプリレコメンド場所/アプリレコメンドルール設定」
Web コンテンツグループ情報	「プロパティ権限編集」(サイト権限編集)の「設定の反映」を「有効」にします 「設定グループ権限編集」の「Web コンテンツグループ設定」を「閲覧・編集可」にします

2.1.5 設定ファイルの編集

- 「importer.properties.example（設定ファイルのサンプル）」のファイル名を「importer.properties」に変更後、ファイル内の各設定項目を編集します。
- ※ 設定ファイル内にはパスワード情報を記載する箇所がありますので、設定ファイルの取り扱い

(ファイル権限) に注意してください。

- 設定を行う項目の行頭にある「#」を削除し、設定項目の「=」の後に設定内容を入力して上書き保存してください。

※ 行頭に「#」がある設定項目の設定内容は無視され、デフォルトの設定が使用されます。

- 設定ファイルの文字エンコーディングは UTF-8 で保存してください。

- 各設定項目の詳細は下記の通りです。

< 設定項目 (必須項目) >

設定項目	設定内容	備考
rtoaster.login.userName	Rtoaster action+管理画面のオペレーターのログイン ID	
rtoaster.login.password	Rtoaster action+管理画面のオペレーターのパスワード	パスワードに「¥」(バックスラッシュ)が含まれる場合、設定ファイルでは「¥¥」とバックスラッシュを 2 文字続けて記述してください。 ※設定ファイル内では「¥」(バックスラッシュ)が特別な意味を持つ文字である為、このような記述が必要となります
rtoaster.site.accountId	契約プロパティ (サイト) のトラッキング ID (アカウント ID) (契約番号)	Rtoaster action+管理画面のプロパティ選択(サイト選択)後、左上のプロパティ名(サイト名)プルダウンメニューよりトラッキング ID (アカウント ID)がご確認頂けます。 ※「RTA-」で始まり半角英数にて以下のようになります 「RTA-xxxx-xxxxxxxxxxxxxx」

< 設定項目 (任意項目) >

設定項目	設定内容	備考
importer.log.path	ログファイルの出力先ディレクトリパス ➤ デフォルト値はプログラムと同じディレクトリ	

設定項目	設定内容	備考
importer.log.history	ログファイルの保持期限 ➤ デフォルト値は「31 日」	
importer.proxy.host	Proxy サーバーのホスト名または IP アドレス	Proxy サーバー経由でアクセスを行う場合のみ設定を行ってください。
importer.proxy.port	Proxy サーバーのポート番号 ➤ デフォルト値は「8080」	
importer.proxy.type	Proxyサーバーの種類 ➤ デフォルト値は「HTTP」 ➤ 下記いずれかを指定してください ・ HTTP ・ SOCKS	
importer.proxy.userName	Proxyサーバーのログインユーザー	
importer.proxy.password	Proxyサーバーのパスワード	
importer.attribute.path	ユーザー属性データファイルのディレクトリパス	
importer.recommend.name	ユーザー軸外部リストレコメンドデータを登録するリスト名	管理画面のユーザー軸外部リストレコメンド設定で作成したリスト名を指定してください
importer.recommend.path	ユーザー軸外部リストレコメンドデータファイルのディレクトリパス	
importer.associate.name	アイテム軸外部リストのリスト名	アイテム軸外部リストを複数利用している場合に、アップロード先のアイテム軸外部リスト名を設定します。 未指定の場合は登録されている最初のアイテム軸外部リストが選択されます。 この機能を利用する場合は importer.associate.path も指定が必要になります。
importer.associate.path	アイテム軸外部リストレコメンドデータファイルのディレクトリパス	
importer.item.path	アイテムデータファイルのディレクトリパス	
importer.item.mode	アイテムデータの更新方法 ➤ デフォルト値は「merge」 下記いずれかを指定してください ・ 差分更新 : merge ・ 置換更新 : renew	
importer.content.path	Webコンテンツグループ情報ファイルのディレクトリパス	

設定項目	設定内容	備考
importer.content.mode	Webコンテンツグループ情報の更新方法 ➤ デフォルト値は「merge」 下記いずれかを指定してください ・差分更新：merge ・置換更新：renew	

3 自動データアップロードプログラムの実行

3.1 自動データアップロードプログラムの実行

- 起動スクリプトを実行すると本プログラムが起動し、各ファイルのデータが Rtoaster action+へアップロードされます。
- 起動時に引数を渡すことで指定した設定ファイルを読み込んで実行することが可能です。
(例)
`#importer.sh ./conf/importer.properties`
※引数を渡さなかった場合は同じディレクトリにある設定ファイルを読み込みます。
- 本プログラムが実行されると、ディレクトリ内にログファイル（`importer.log`）が作成され、終了時に戻り値が返ります。
- 正常終了した場合、アップロードデータのファイルは削除されます。
- 戻り値とその内容は下記の通りです。

戻り値	内容	備考
0	正常終了	
1	初期化失敗	エンドポイントの URL 設定不備等の問題があります。
2	設定されたパスが存在しない	各データファイルへのディレクトリパスが不正です。
3	指定された更新方法が不正	更新方法に不正な値が指定されています。
4	リスト名が未指定	ユーザー軸外部リストレコメンドデータを登録するリスト名が指定されていません。
5	API 実行エラー	エラーの詳細は本プログラムのディレクトリ内に作成される <code>importer.log</code> をご確認ください。
9	内部エラー	このエラーが発生した際は Rtoaster サポート窓口までご連絡ください。その際、本プログラムのディレクトリ内に作成される <code>importer.log</code> をメールで送付して頂くようお願い致します。

3.2 アップロードデータの処理状況確認

- アップロードしたデータの処理状況を管理画面の「データ状況表示」からご確認頂けます。
詳細は Rtoaster サポートセンターに掲載中のマニュアルをご参照ください。
- ※ Web コンテンツグループの確認は「データ状況表示」からご確認出来ない為、管理画面の「Web コンテンツグループ設定」からご確認ください。

4 付録

4.1 自動データアップロードプログラム動作確認チェックシート

- 本プログラムが正常に動作しない場合、下記のチェックシートで設定漏れ等がないかご確認ください。

<環境設定のチェックシート>

	チェック項目
☐	プログラムを実行する PC/サーバーが下記 URL にアクセス可能な事 https://admin.rtoaster.jp/ ※プロキシの設定を行っている場合、プロキシ経由でアクセス可能な事を確認
☐	プログラムを実行する PC/サーバーに Java™ Runtime Environment がインストールされている事 ※対象バージョンについては 1.3 動作環境 を参照
☐	自動データアップロードプログラムの実行ユーザーに対して起動スクリプトの実行権限が付与されている事 ・起動スクリプト Windows : importer.bat Unix/Linux : importer.sh

<設定ファイル (importer.properties) のチェックシート>

	チェック項目
☐	起動スクリプト、プログラム本体と同じディレクトリに設定ファイル(importer.properties)が存在する事 または、引数で指定したディレクトリパスに存在すること
☐	設定ファイルの ID/PASS に Rtoaster action+管理画面のログインユーザーの ID/PASS が設定されている事
☐	各 CSV(TSV)ファイルのディレクトリパスが正しく設定されている事 ・ディレクトリの区切りに「¥」が使用されていない事 (「/」を使用する事) ・UNC 表記が使用されていない事 (UNC : 「//ホスト名/」から始まる Path 表記)
☐	各 CSV(TSV)ファイルのディレクトリパスが別々のディレクトリに設定されている事

<アイテム情報データ CSV ファイルのチェックシート>

	チェック項目
☐	設定ファイルで指定したディレクトリパスに CSV(TSV)ファイルが存在する事 (CSV(TSV)ファイル以外のファイルが存在しない事)
☐	自動データアップロードプログラムの実行ユーザーが CSV(TSV)ファイルにアクセス可能な事
☐	CSV ファイルが RFC-4180 に準拠している事 ※フィールドにコンマ、ダブルクォート、改行を含む場合、フィールドがダブルクォートで囲まれている事 ※フィールド内のダブルクォートが、ダブルクォートを 2 つ並べてエスケープされている事
☐	ヘッダ行に Rtoaster action+管理画面で設定したフィールド名が全て存在する事
☐	ログインユーザーに適切なプロパティ権限 (サイト権限) (アイテム情報のインポートの有効)が設定されている事

<ユーザー属性データ CSV ファイルのチェックシート>

	チェック項目
☐	設定ファイルで指定したディレクトリパスに CSV(TSV)ファイルが存在する事 (CSV(TSV)ファイル以外のファイルが存在しない事)
☐	自動データアップロードプログラムの実行ユーザーが CSV(TSV)ファイルにアクセス可能な事
☐	CSV ファイルが RFC-4180 に準拠している事 ※フィールドにコンマ、ダブルクォート、改行を含む場合、フィールドがダブルクォートで囲まれている事 ※フィールド内のダブルクォートが、ダブルクォートを 2 つ並べてエスケープされている事
☐	ヘッダ行の各ユーザー属性が Rtoaster action+管理画面で設定されている事
☐	各ユーザーID に付与する属性値が Rtoaster action+管理画面で設定されている事
☐	ログインユーザーに適切なプロパティ権限 (サイト権限) (ユーザー属性のインポートの有効)が設定されている事

<アイテム軸外部リストレコメンドデータ CSV ファイルのチェックシート>

	チェック項目
☐	アイテム軸外部リストを複数利用している場合、設定ファイルでリスト名(importer.associate.name)とファイルが置かれるパス(importer.associate.path)が指定されている事
☐	設定ファイルで指定したディレクトリパスに CSV(TSV)ファイルが存在する事 (CSV(TSV)ファイル以外のファイルが存在しない事)
☐	自動データアップロードプログラムの実行ユーザーが CSV(TSV)ファイルにアクセス可能な事
☐	CSV ファイルが RFC-4180 に準拠している事 ※フィールドにコンマ、ダブルクォート、改行を含む場合、フィールドがダブルクォートで囲まれている事 ※フィールド内のダブルクォートが、ダブルクォートを 2 つ並べてエスケープされている事

	チェック項目
☐	ヘッダ行に「ターゲットアイテムコード」「レコメンドアイテムコード」「ポイント」が存在すること
☐	「ターゲットアイテムコード」「レコメンドアイテムコード」で指定したアイテムコードのアイテムデータが Rtoaster action+ にアップロードされている事
☐	ログインユーザーに適切なプロパティ権限 (サイト権限) (アイテム軸外部リストのインポートの有効) が設定されている事

<ユーザー軸外部リストレコメンドデータ CSV ファイルのチェックシート>

	チェック項目
☐	設定ファイルでリスト名(importer.recommend.name)が指定されている事
☐	設定ファイルで指定したリスト名が Rtoaster action+ 管理画面で設定(登録)されている事
☐	設定ファイルで指定したディレクトリパスに CSV(TSV)ファイルが存在する事 (CSV(TSV)ファイル以外のファイルが存在しない事)
☐	自動データアップロードプログラムの実行ユーザーが CSV(TSV)ファイルにアクセス可能な事
☐	CSV ファイルが RFC-4180 に準拠している事 ※フィールドにコンマ、ダブルクォート、改行を含む場合、フィールドがダブルクォートで囲まれている事 ※フィールド内のダブルクォートが、ダブルクォートを 2 つ並べてエスケープされている事
☐	ヘッダ行に「ユーザーID」「アイテム設定のアイテムコードで設定されているフィールド名」「ポイント」が存在すること
☐	「アイテム設定のアイテムコードで設定されているフィールド名」のアイテムデータが Rtoaster action+ にアップロードされている事
☐	ログインユーザーに適切なプロパティ権限 (サイト権限) (ユーザー軸外部リストのインポートの有効) が設定されている事 以下のプロパティ権限 (サイト権限) または設定グループ権限のいずれか 1 つ以上が設定(閲覧可または閲覧・編集可)されている事 (メールレコメンド場所設定) (外部連携配信設定) (Web レコメンド場所/Web レコメンドルール設定) (アプリレコメンド場所/アプリレコメンドルール設定)

<Web コンテンツグループ情報 CSV ファイルのチェックシート>

	チェック項目
☐	設定ファイルで指定したディレクトリパスに CSV(TSV)ファイルが存在する事 (CSV(TSV)ファイル以外のファイルが存在しない事)
☐	自動データアップロードプログラムの実行ユーザーが CSV(TSV)ファイルにアクセス可能な事
☐	CSV ファイルが RFC-4180 に準拠している事 ※フィールドにコンマ、ダブルクォート、改行を含む場合、フィールドがダブルクォートで囲まれている事 ※フィールド内のダブルクォートが、ダブルクォートを 2 つ並べてエスケープされている事

☐	ヘッダ行に Rtoaster action+管理画面で「Web コンテンツグループ設定」をエクスポートした場合と同じフィールド名が存在すること
☐	ログインユーザーに適切なプロパティ権限 (サイト権限) (設定の反映の有効)が設定されている事 設定グループ権限(Web コンテンツグループ設定の閲覧・編集)が設定されている事

